令和５年度「経営に関する課題抽出調査」結果報告書

河辺雄和商工会

本調査では、河辺雄和地区における小規模事業者が抱える経営に関する課題等について概観するとともに、当地区小規模事業者が求める支援内容についての調査結果である。

調査概要

調査目的	経営課題や支援ニーズ等の実態を把握し、経営発達に幅広く活用する
調査地域	河辺雄和地区
対象者条件	小規模事業者（会員・非会員）
調査方法	郵送法（一部電話法、留置法）
標本抽出方法	条件適合小規模事業者を選定の上で本調査を実施
有効回答数	116（回答率 21.5%　調査数 540）
調査期間	令和 5 年 9 月 1 日（金）～9 月 20 日（水）
調査内容	本調査：6 問

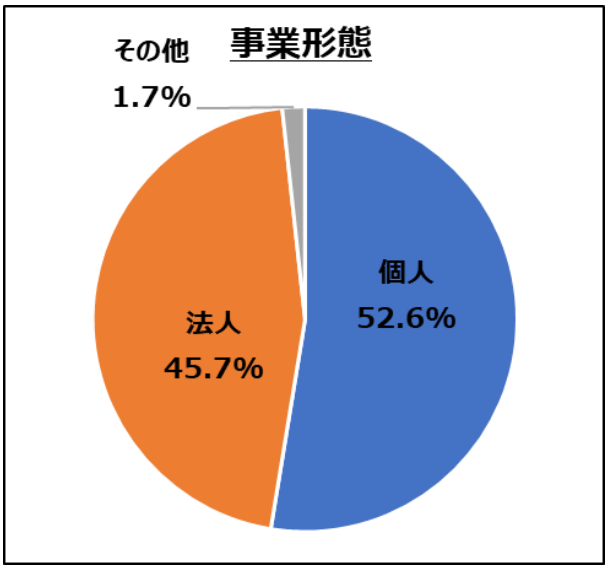
※前回比較は、令和 4 年度調査（実施期間：令和 4 年 10 月 3 日～10 月 20 日、対象者条件：小規模事業者 537（有効回答数 203））である。

※前回調査と今回調査とでは調査内容が一部異なっている。

回答者の基本属性

【事業形態】

- 今回の調査にご回答いただいたのは、個人事業主が 52.6%、法人事業所が 45.7%となっている。

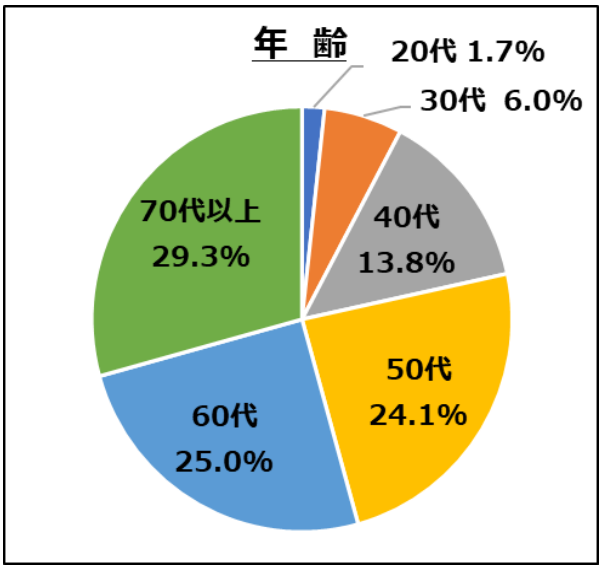


事 業 形 態	事業所数	割 合
個人事業主	61 社	52.6%
法人（株式、有限、合資等）	53 社	45.7%
その他（農事組合法人等）	2 社	1.7%

（n＝116）

【年齢】

- 代表者の年齢は 60 代、70 代が多い。
- 平均年齢は 60.4 歳（前回調査より 3.4 歳低下）。

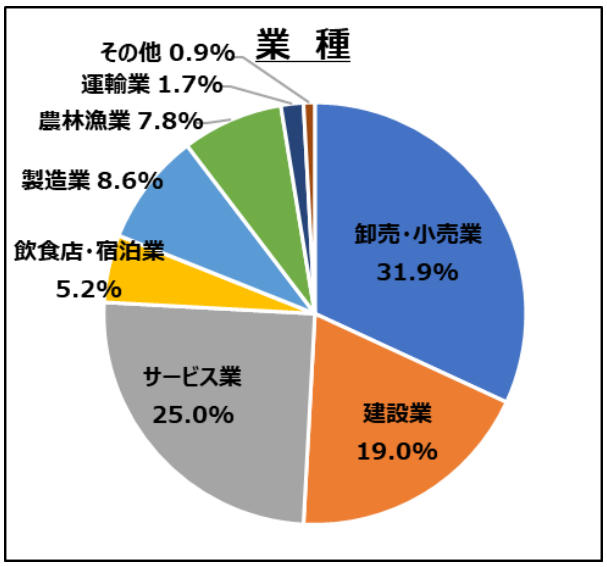


年 代	人 数	割 合
20 代	2 人	1.7%
30 代	7 人	6.0%
40 代	16 人	13.8%
50 代	28 人	24.1%
60 代	29 人	25.0%
70 代以上	34 人	29.3%

（n＝116）

【業種】

- 今回の調査は卸売・小売業が 31.9%と最も多くご回答いただいた。



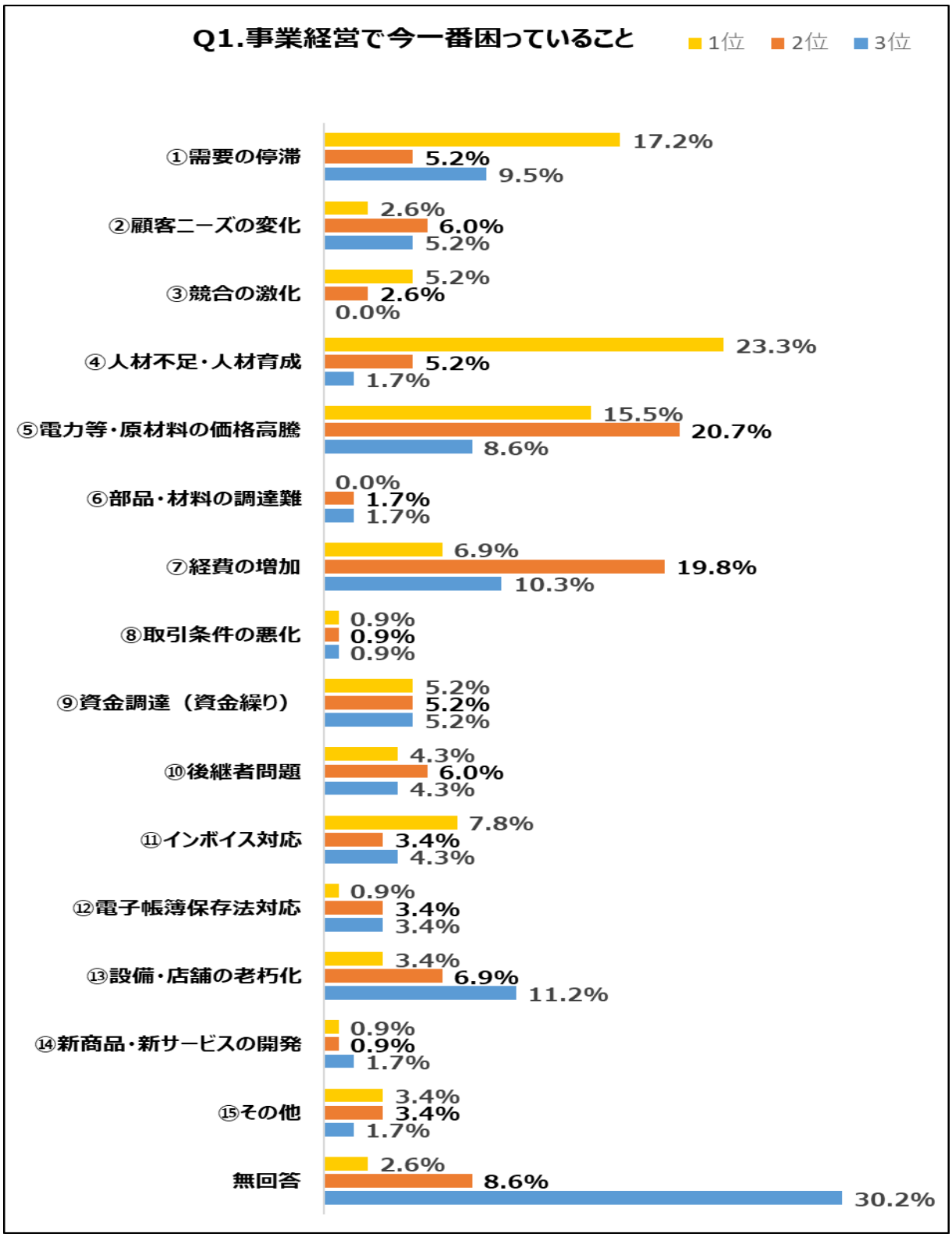
業 種	事業所数	割 合
卸売・小売業	37 社	31.9%
建設業	22 社	19.0%
サービス業	29 社	25.0%
飲食店・宿泊業	6 社	5.2%
製造業	10 社	8.6%
農林漁業	9 社	7.8%
運輸業	2 社	1.7%
その他	1 社	0.9%

（n＝116）

事業所経営について

Q1. 事業経営で今一番困っている事は何ですか？ （上位３位）

- 「④人材不足・人材確保」との回答が１番多い。次いで「①需要の停滞」、「⑤電力等・原材料の価格高騰」となっている。
- ２番目に困っている事では、「⑤電力等・原材料の価格高騰」、「⑦経費の増加」を挙げる事業所が多かった。

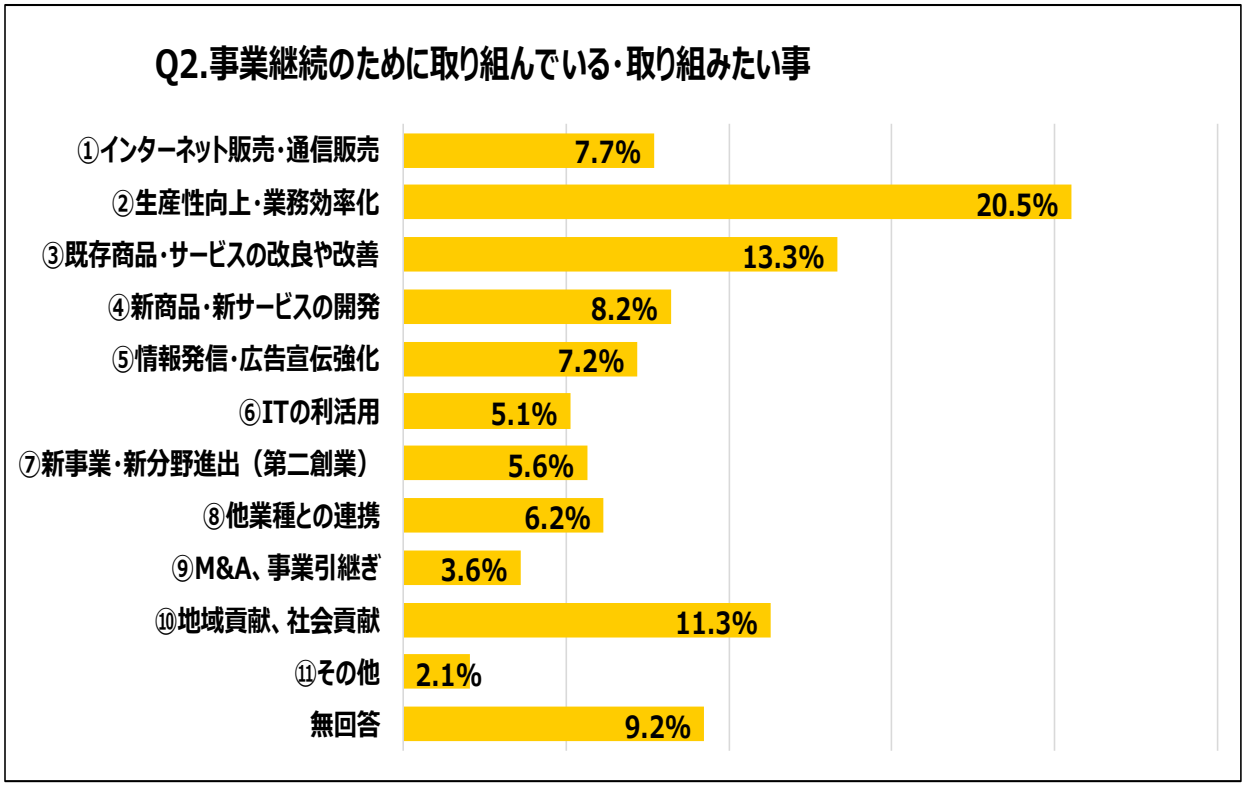


（その他記述回答） （n＝116）

施設の増設検討、技術向上、仕入先について、帳簿管理、新規開拓先、水害からの復旧

Q2. 事業を継続するために取り組んでいる・取り組んでみたい事は？

- 「②生産性向上・業務効率化」が最も多く、次いで「③既存商品・サービスの改良や改善」、「⑩地域貢献・社会貢献」となっている。

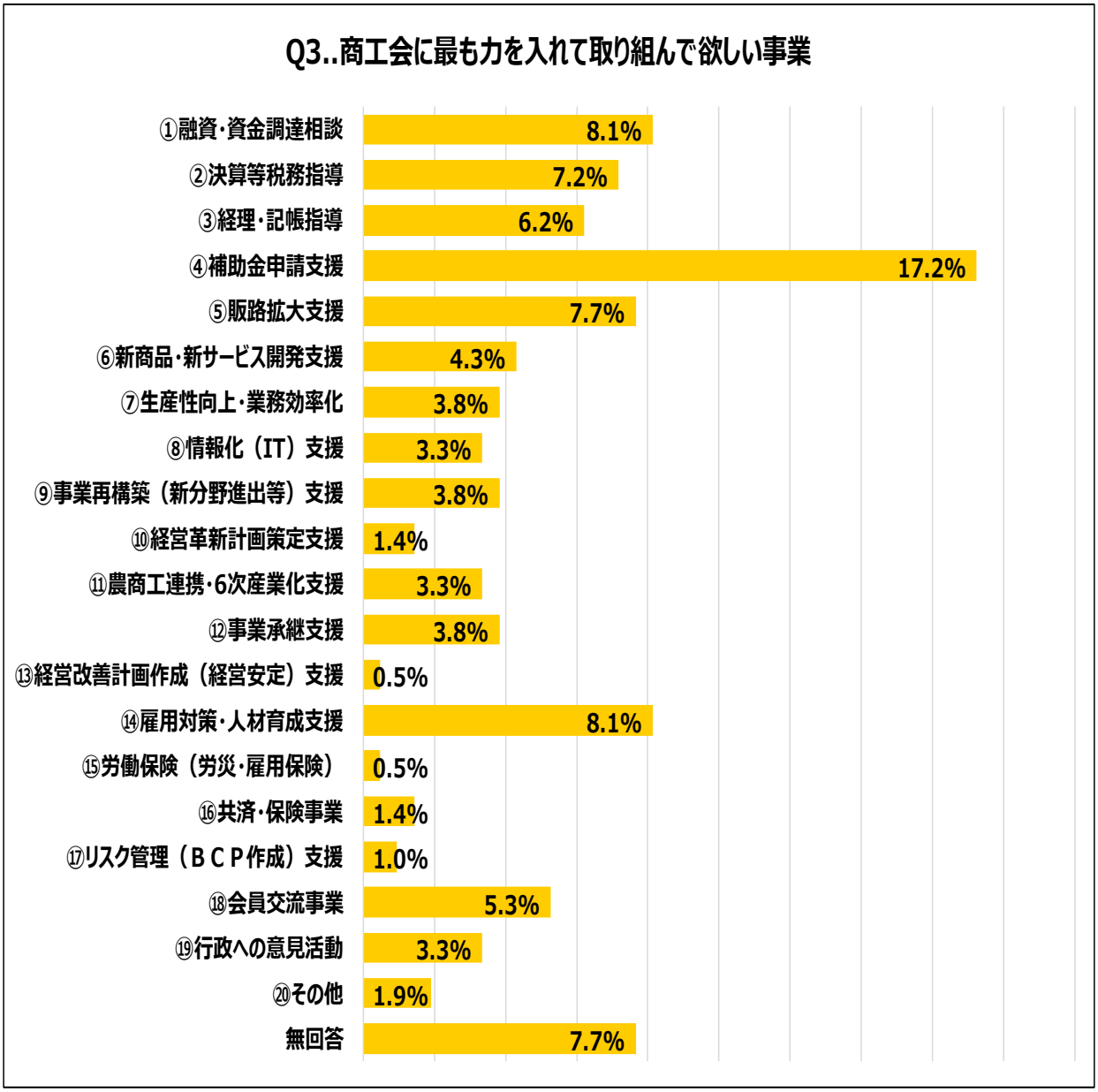


（その他記述回答） （複数回答可：n＝195）

海外進出

Q3．商工会に最も力を入れて取り組んで欲しい事業は何ですか？

- 「④補助金申請支援」が最も多かった。次いで「①融資・資金調達相談」、「⑭雇用対策・人材育成支援」が同率となっている。これは、昨年の調査において、「今後商工会に相談したいこと」と同順位であった。



（その他記述回答） （複数回答可：n＝209）

若者の定着支援、事業間連携マッチング

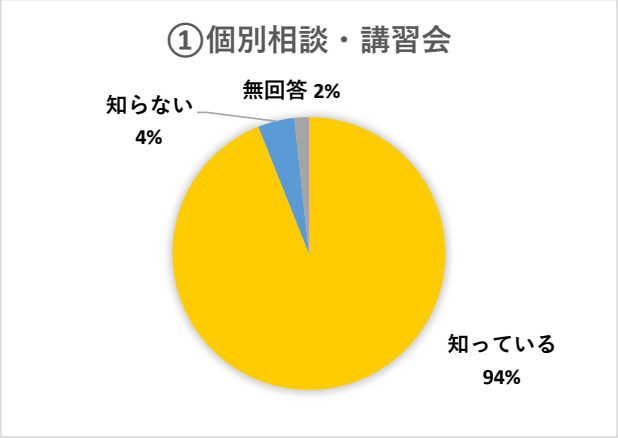
Q4．行政等への要望について

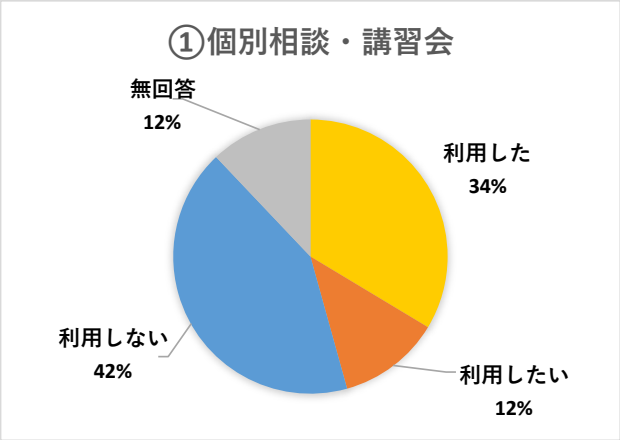
- 各種申請手続きを簡単にしてほしい。
- 中小企業に対する激甚災補助の充実化。
- 県外、海外への情報発信の強化。
- インボイスの廃止。
- 秋田市の開発許可制度の縛りが厳しく、事業展開の障壁となっている。緩和を要望。
- 他行同士の借入一本化。
- 働く人への支援ばかり重視し、事業主への支援が見えない。都会の大企業は対応できるが、地方の企業は過疎化が進む中、企業そのものの存続が厳しい。

商工会の事業について

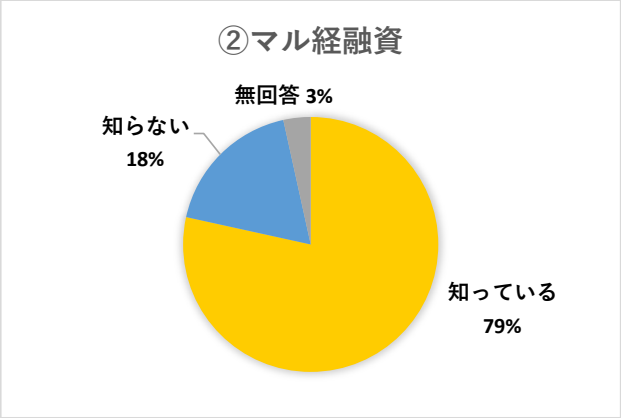
Q5. 事業やサービスを知っているか？ ／ 利用したいか・利用しないか？ （n＝116）

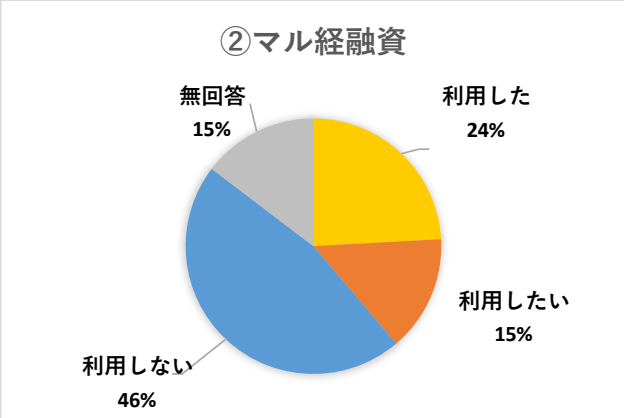
【個別相談・講習会】 税務・金融・経営相談など



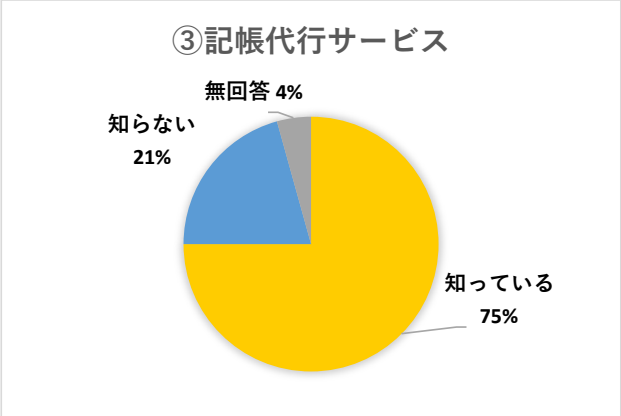


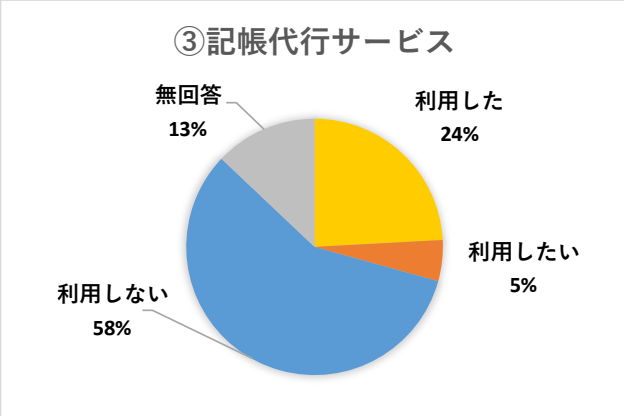
【マル経融資】 無担保・無保証・低利率の融資制度



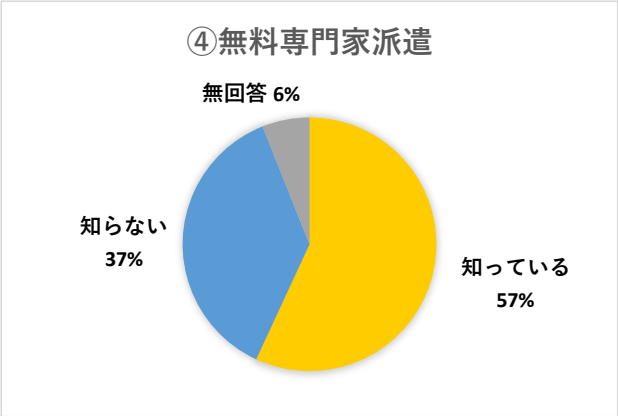


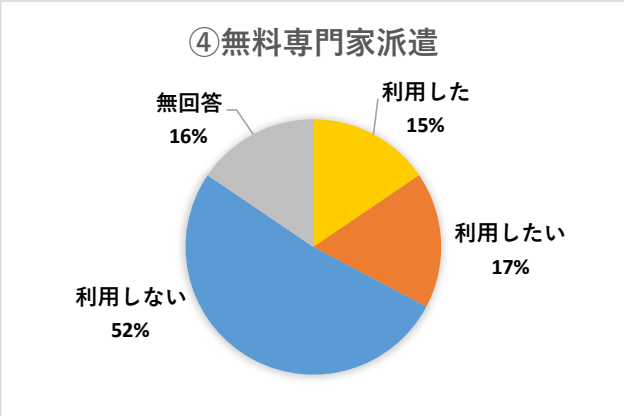
【記帳代行サービス】 記帳機械化システムの利用や年末調整など（有料）



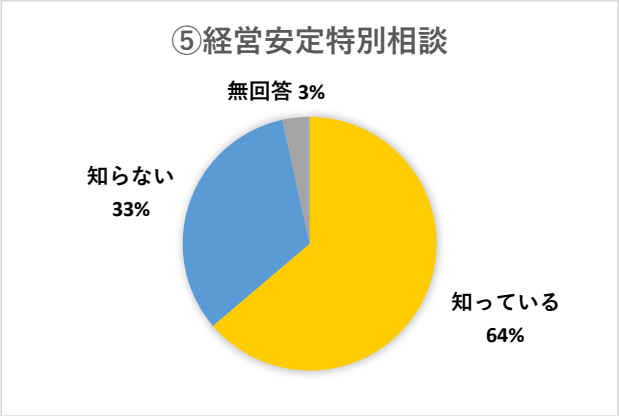


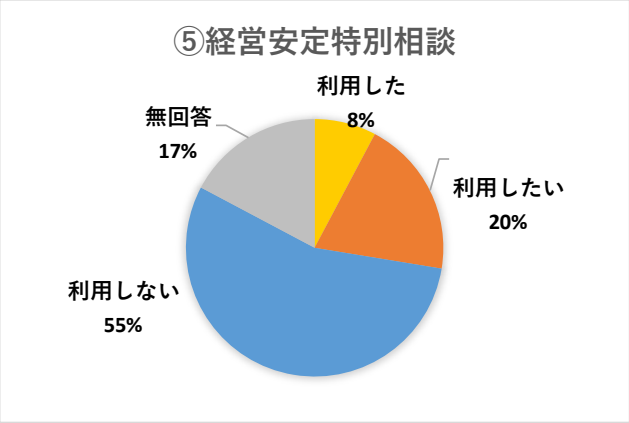
【無料専門家派遣】 店舗づくりや人材育成など、課題に応じた専門家を派遣



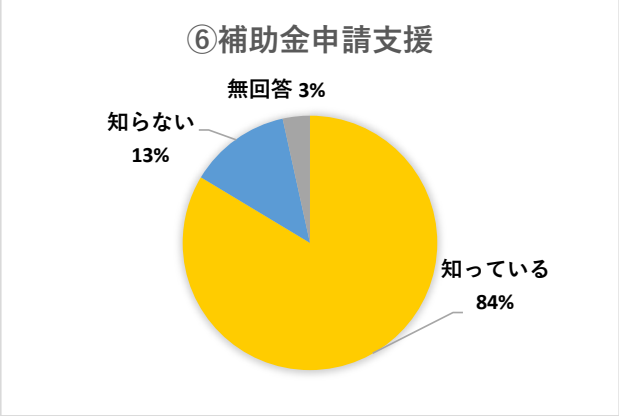


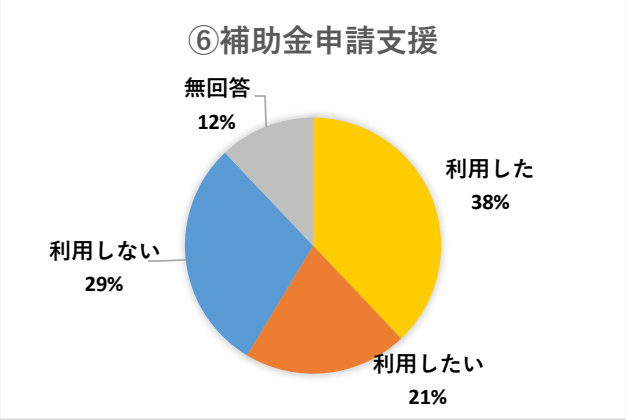
【経営安定特別相談】 弁護士、税理士などによるアドバイス等を行う



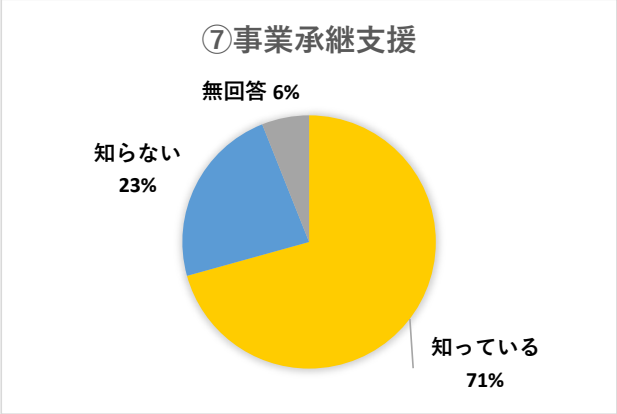


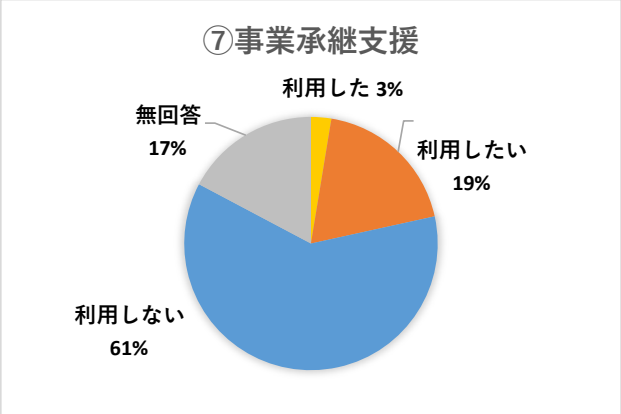
【補助金申請支援】 各種補助金の申請を支援



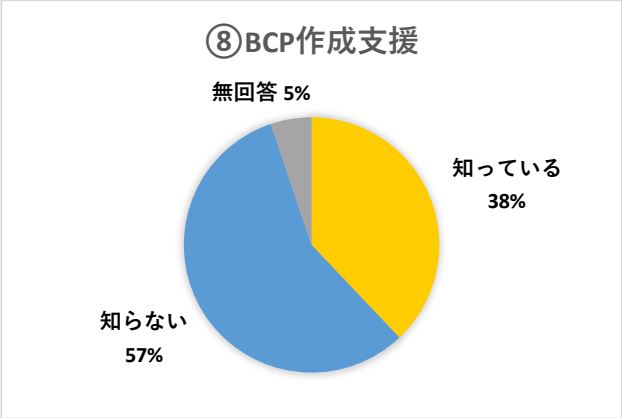


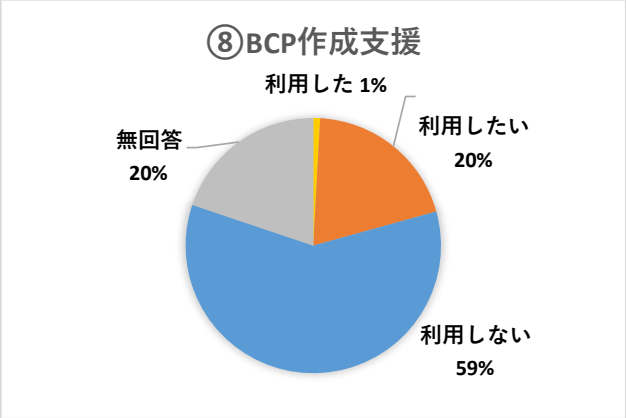
【事業承継支援】 親族、従業員、第三者への承継を支援



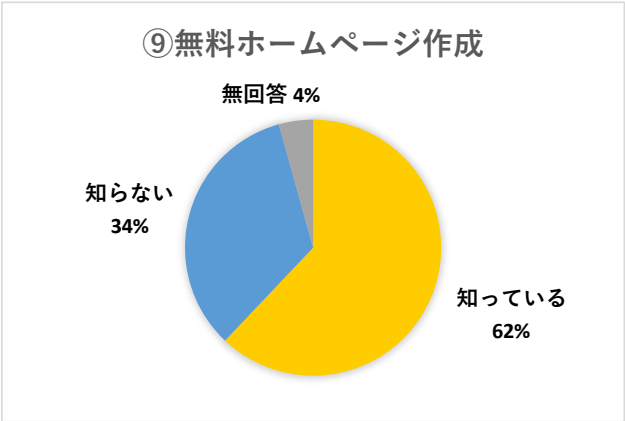


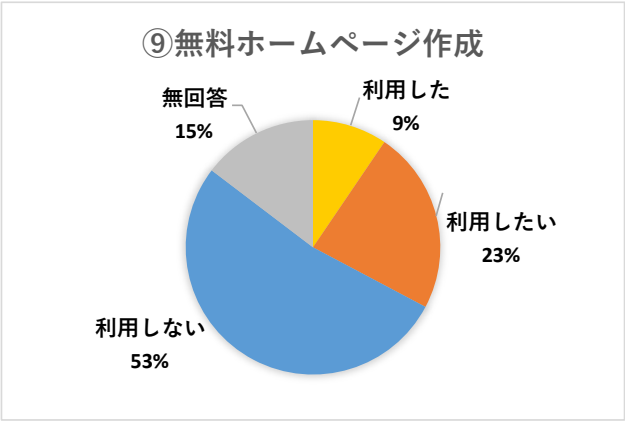
【BCP 作成支援】 災害時などに事業を早期復旧するための計画作成を支援



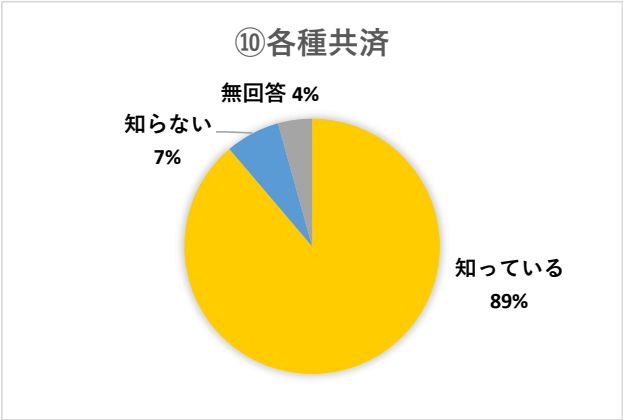


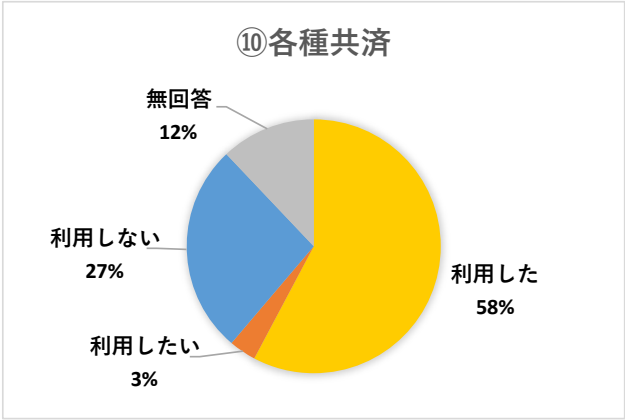
【無料ホームページ作成】 ホームページを無料で設置



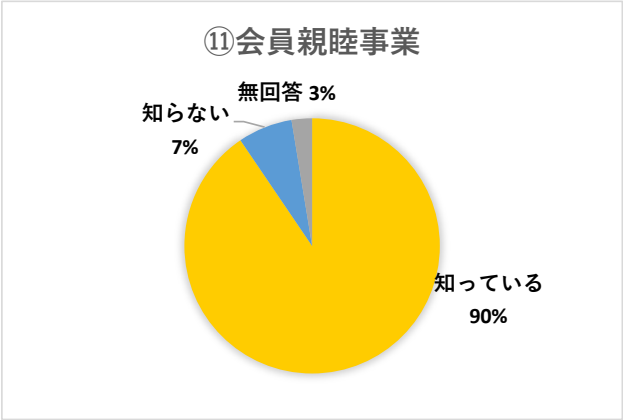


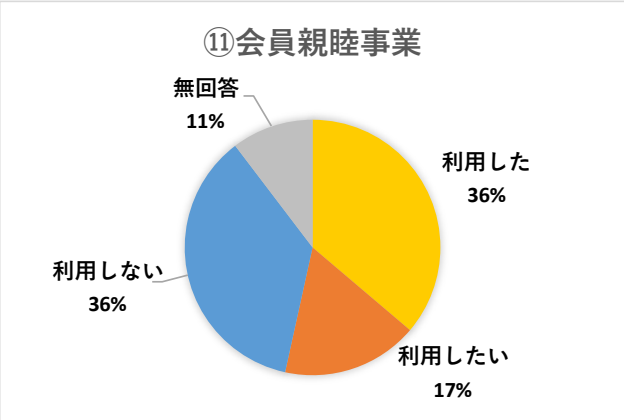
【各種共済】 貯蓄・火災・自動車共済、小規模共済・中退共等



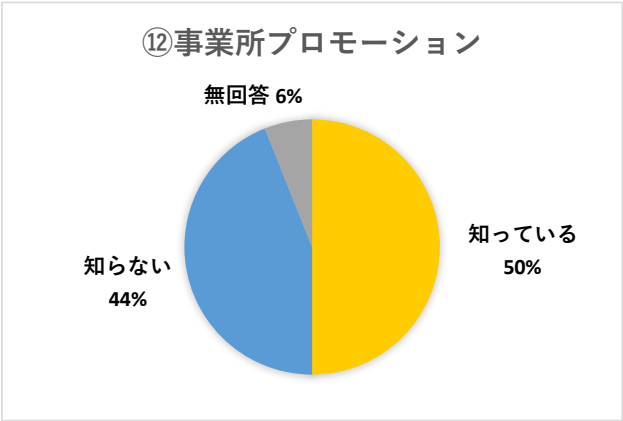


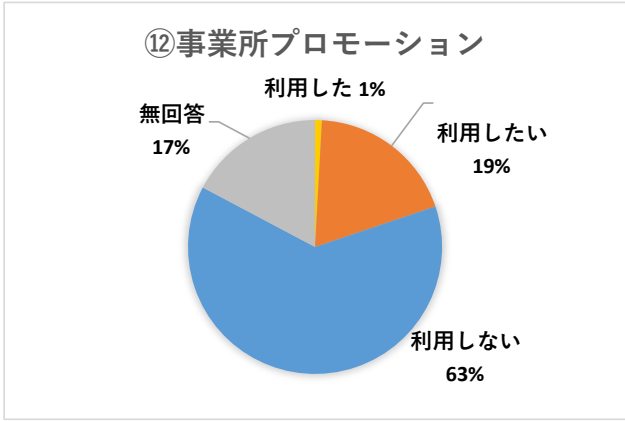
【会員親睦事業】 視察研修・ゴルフ大会・新春のつどい等の開催



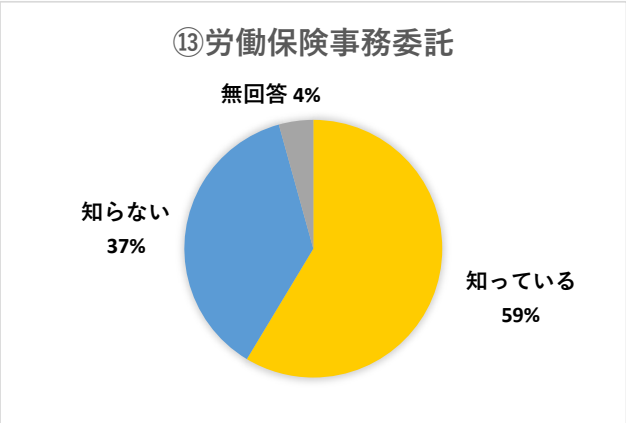


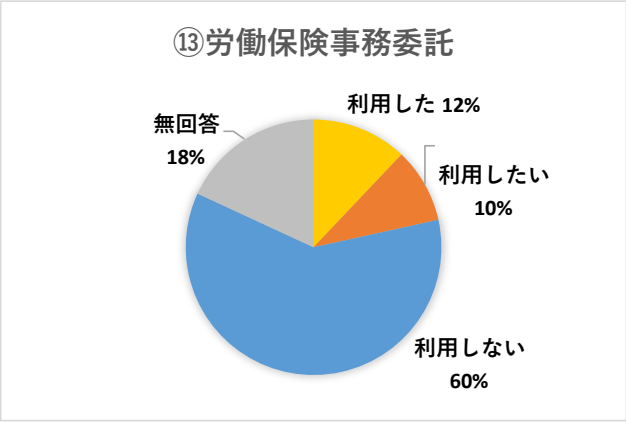
【事業所プロモーション支援】 チラシ同封サービス・広告掲載サービス（有料）



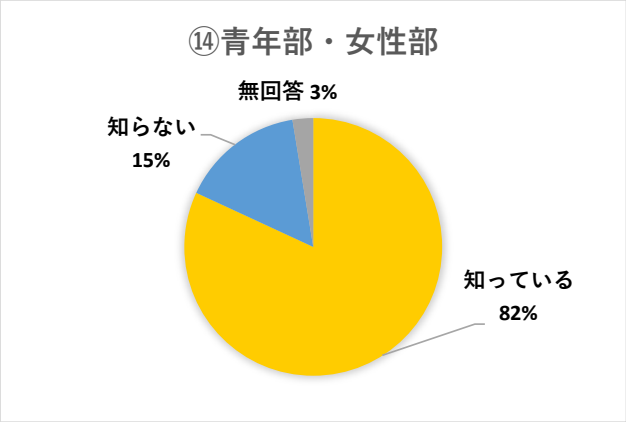


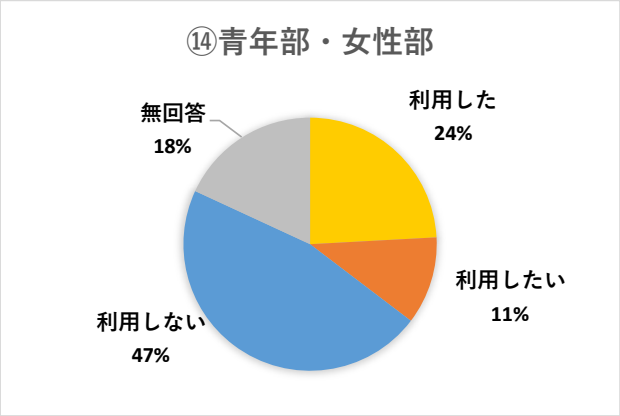
【労働保険事務委託】 労災･雇用保険に関する事務手続き（有料）



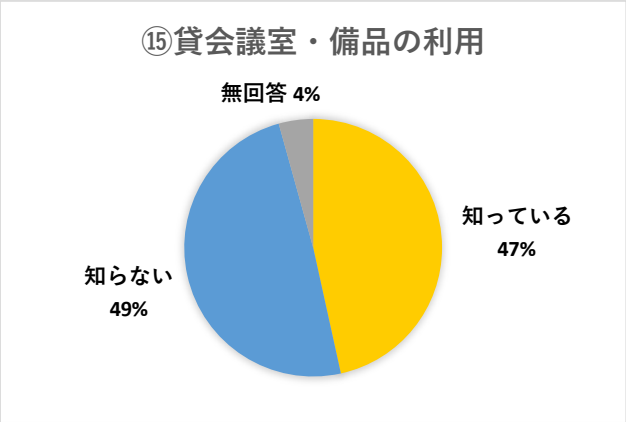


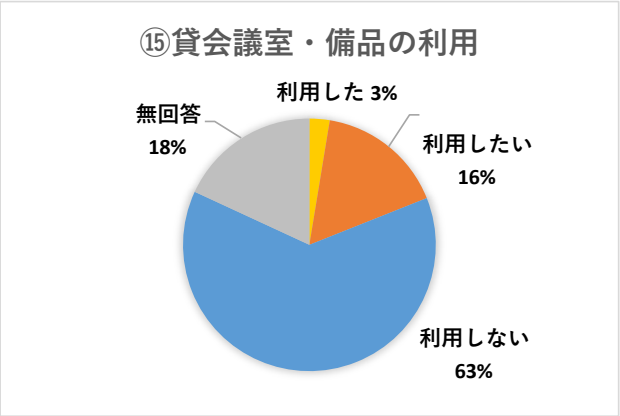
【青年部･女性部】 地域内の異業種交流、仲間づくり



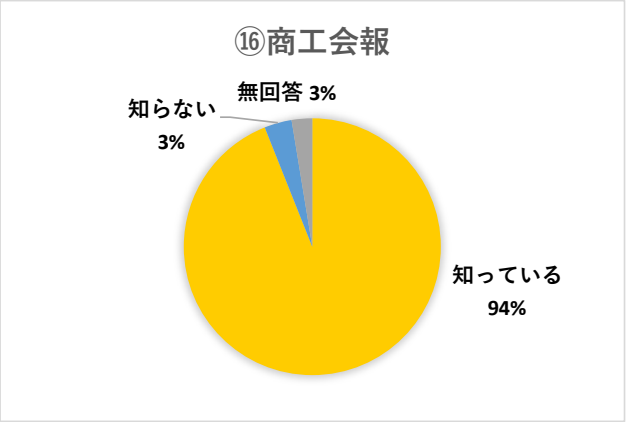


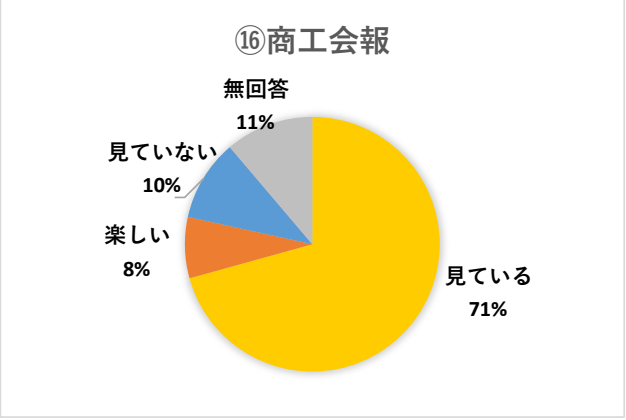
【貸会議室･備品の利用】 商工会館の会議室等の貸し出し（低料金）





【商工会報】 年 3 回発行、各種情報発信





商工会について

商工会にご要望等がありましたらお聞かせください

- インボイス制度について相談したい。
- 地域の防災面を共に考えていきたい。
- 補助金・助成金などについては、以前のようなコロナ休業協力金など、新しく発生するものはお知らせ願いたい。
- 補助金や助成金の情報が欲しい。
- 本年は不作であったため、来年にかけたい。良い方法があれば指導願いたい（農産物生産・小売業）。
- 事業承継は未検討ではあるが、会社は代々引き継いで行かねばならないと思っている。
- 様々なことで相談にのって頂きありがたい。引き続き相談にのっていただきたい。
- 働き方改革により、従業員の年次有給休暇が多くなったのと、労働時間の短縮などで営業時間を短くして対応している。
- 円満廃業を望んでいる。年齢や病気等で働けなくなるまでは頑張る予定なのでアドバイスをお願いしたい。
- 主に税務関係で指導いただいているが、別分野でも今後お世話になるかもかもしれない（今のところ、現状維持で精一杯ですが）。

総括コメント：まとめ

本調査は、河辺雄和地区小規模事業者の経営課題や支援ニーズ等の実態を把握し、経営発達に幅広く活用する目的で調査されたもので、以下調査内容を総括する。

１．事業経営で今一番困っている事、及び ３．商工会に力を入れて取り組んで欲しい事業においては、昨年と同様に「人手不足・雇用対策、人材育成」に係る回答が最も多かった。依然として人手不足の状況が続いていることが分かった。この結果を受け、当会では「人手不足解消に向けたセミナー」を実施して課題解決への支援を進めている。

また、「電力等・原材料の価格高騰」や「経費の増加」についても大きな課題と捉えられており、激しく変化する外部環境の影響に耐え、事業を継続するために企業内部を強化する「生産性向上・業務効率化」に取り組んでいきたいと考えている事業者が多いことが分かった。当会では今後も融資制度を活用した生産性向上のための設備導入や無料専門家派遣を通じた業務効率化への提案支援等を強化していく。

その他、環境変化を踏まえて経営課題を冷静に見極め、迅速果敢に対応・挑戦する「自己変革力」が求められる現代、「既存商品・サービスの改良や改善」、「新商品・新サービスの開発」等、自社『商品（サービス）』の再構築に取り組む必要があると考える事業者が多いと共に、それに伴って『売り方・伝え方』の再構築の必要性も感じ、「インターネット販売・通信販売」「情報発信・広告宣伝強化」に取り組みたいと考えている事業者が多いことも分かった。 ５．商工会の事業活動（サービス）に関する調査においても、今後「利用したい」割合が最も大きく表れたのは「無料ホームページ作成」で、消費者へ自社商品（サービス）の価値をしっかりと伝える努力が必要であると考えていることが分かる。

本調査の結果を踏まえ、事業環境の変化に即応して自社の事業領域を明確化し、戦略的経営を実践していくためには、各事業者が直面する経営課題に対して事業者に寄り添い、継続的に実施する伴走型支援が今後増々当会に求められているものと考えられる。